

‘08G P 第 6 戦群馬リレーカーニバル・日本選抜混成・日本 J R 選手権混成

競技注意事項

1. 規 則 本大会は 2008 年日本陸上競技連盟競技規則によって実施する。
2. 練 習 サブトラックを使用する。但し、投擲は競技場内で審判員の指示により行う。
3. 招 集 (1) 招集は、競技者係の指示による。招集開始並びに完了時刻は、下記のとおり。

	開始時刻	完了時刻
トラック競技	開始 2 5 分前	開始 1 5 分前
フィールド競技	開始 4 0 分前	開始 3 0 分前

- (2) 招集におくれた場合は、棄権とみなす。
 - (3) 招集は、本人が招集所に行き招集をうける。但し、他の種目を兼ねて出場する者は、競技者係及び当該種目の審判主任に申し出て了解を得る。
これを怠った者は、棄権とみなす。
 - (4) やむを得ず棄権するときは、棄権届を競技者係で受け取り、必要事項を記入の上、招集開始時刻までに競技者係に提出する。なお、申込み後、出場しない意思がある場合は、棄権届を事前（大会前日 1 0 月 1 0 日正午まで）に、大会本部宛に直接又は郵送あるいは F A X により提出すること。
 - (5) 招集所から競技場への入場及び競技終了後の退場は係員の指示に従い、規律ある行動をとる。
 - (6) 混成競技は、最初の種目（第 1 日目、第 2 日目とも）で招集所にて招集をうけ、以後の種目については開始時刻までに競技場所に各自で集まる。
4. ナンバーカード (1) 支給されたものを胸背部に確実につけること。但し、走高跳は胸又は背につけるだけでもよい。
(2) 腰ナンバーカードは、右腰につける。
 5. 走路及びフィールドの試技順序
トラック競技の予選のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で示す。

6. バーの上げ方

種 目		練習	1	2	3	4	5	6	7	以後	
女子走高跳		1m60 1m70	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	1m83	3 cm ずつ	
G P 混 成	男	走高跳	1m72	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m93	3 cm ずつ
			1m87	1m90	1m93	1m96	1m99	2m02	2m05	2m08	3 cm ずつ
	棒高跳	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	10 cm ずつ	
		4m30	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	10 cm ずつ	
女	走高跳	1m27	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	1m45	1m48	3 cm ずつ	
		1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	1m66	3 cm ずつ	

種 目		練習	1	2	3	4	5	6	7	以後	
J 混 成	男	走高跳	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	3 cmずつ
			1m72	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m93	3 cmずつ
	女	走高跳	2m40	2m50	2m70	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	10 cmずつ
			1m27	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	1m45	1m48	3 cmずつ
			1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	1m66	3 cmずつ

※ JR 棒高跳の練習の高さは2m40のほかは、選手の申し出により審判が判断する

7. リレー競技 オーダ変更の有無にかかわらず、予選、決勝ともオーダ用紙を招集完了時刻1時間前までに競技者係（招集所）に提出する。（用紙は招集所にて受領のこと）
8. 器 具 投擲物は競技場備え付けのものを使用する。
9. 入賞と表彰 表彰はその競技終了後直ちに行う。1～3位に入賞した者は、表彰者控室にて、表彰係の指示に従う。
10. 物品保管 物品の保管については、各自で十分留意し、紛失・盗難等のなきよう注意する。
11. スパイクのピンは、トラック9mm、フィールド¹12mmまでとする。
12. 開場時間は、メインスタンド8時、サブグラウンド7時00分とする。
場内はIDによりコントロールされる。
各チームの横断幕、のぼり等の場内への掲示は禁止する。